平成26年度重点メニュー振り返り

環保協では、公衛協活動の支援策として、環境づくり・健康づくり活動メニューの提案を行っています。平成26年度に展開した「全県共通事業重点メニュー」の成果を紹介します。

全県共通事業重点メニューとは、市町公衛協単位だけでなく支部・地区・学区公衛協で実践できるプログラムであり、積極的に地域の公衆衛生活動に取り入れていただきたい事業です。また、重点メニューには活動支援グッズがあり、この支援グッズは環境・健康募金の環保協配分金の一部を充てて作成しているため、これらを活用することで募金事業への理解も促しています。

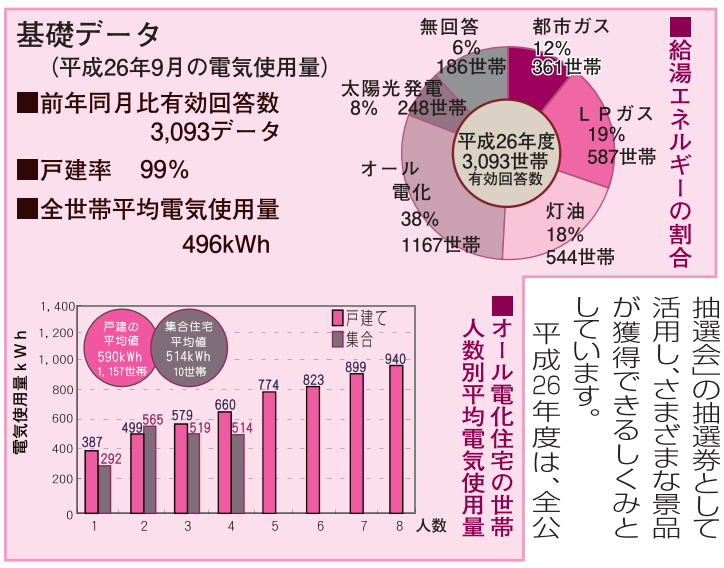
「一万人のエコチェック事業」

実践率35・4％微増・戸建て小人数世帯が中心

県内約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、家庭で消費されるエネルギーの削減運動を展開する事業で、平成22年度にスタートしました。

内容は、8月の検針日から9月の検針日までの約1カ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、その効果を数値的に「見える化」するもの。実践率50％を目標に展開しています。また、多くの推進委員の実践を促すため、エコチェックカードは、広島県公衆衛生大会の「エコチェック事業おたのしみ抽選会」の抽選券として活用し、さまざまな景品が獲得できるしくみとしています。

平成26年度は、全公衛協が事業に参加し、実践率35・4％で、前年比1・8％増加しました。また、公衛協関係者の特徴としては、戸建て住宅、2～3人世帯が特に多いことが示されています。今後の省エネ活動を考える際のポイントとしていきます。



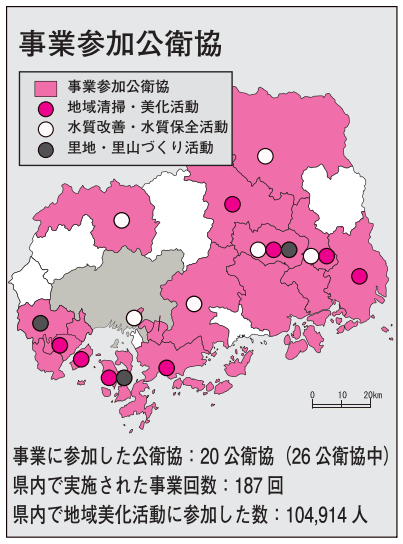
「広島発・瀬戸内海美化大作戦」

県内約10万5千人が事業に参加

瀬戸内海をキーワードに、次世代に住みよい環境を残すこと、継続して自然の恩恵を享受できる環境を維持することを目的に、地域清掃・美化、水質改善・保全、里地里山づくりの3つのテーマの取り組みを支援するもので、平成23年度にスタートしました。

この事業では、活動場所ごとの活動記録を蓄積し、広く住民に公表することで、公衛協のPRを行うこともねらいとしています。

平成26年度は、20公衛協が参加し、延べ187回の事業を実施し、10万4千914人が活動に参加しました。引き続き、県内の公衛協活動の実績を集約し、公衛協活動の成果を発信していきます。



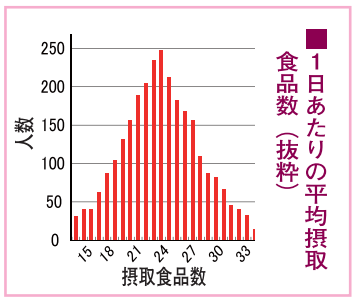
「1万人の食チェック事業」

実践者の80％が1日20品目以上摂取

健康維持のために、公衆衛生推進委員自らが食生活の傾向を知り、健康づくりに繋げることをねらいとする事業で、平成23年度にスタートしました。

事業内容は、チェック期間を定め、食事で摂取する食品数を数えて、カードに記載するもので、実践率50％を目標にしています。

平成26年度は、実践率30・2％で、前年度より0・9ポイント増加しました。実践者の1日あたりの平均食品摂取数は、1日24品でした。1日に20品目以上摂っている人が全体の80％となり、食品数を多く摂るように心掛けている人が多いことが明らかとなりました。



「公衛協発ウォーキング事業」

5公衛協で、新規取り組みスタート

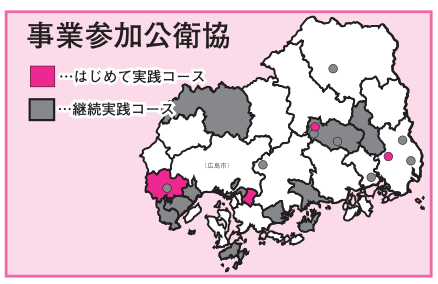
「環境」と「健康」の視点を持ったウォーキング事業を展開することで、日常的な運動習慣に繋げると同時に、公衛協のPRを行い、健康づくり事業の拡充を目指す取り組みで、平成22年度にスタートしました。

既存のウォーキングメニューを支援するコースと、新規に実施する活動を支援する2つのメニューがあり、環境点検や史跡、アドプト空間をコースに盛り込み、チェックポイントなどを準備することで、公衛協らしさを発揮するプログラムが展開されています。

平成26年度は、24の市町地区・学区公衛協が事業を実施し、うち5公衛協が初めて取り組みを行いました。

これまでの活動実績は、当協会HPの「地域活動」ページに報告を掲載しています。平成27年度も重点メニューは、ほぼ同様のプログラムで展開します。積極的に参加、活用いただき、地域の環境・健康の向上、公衛協活動の活性化に役立てていただきたい。

（地域活動支援センター）



平成27年度地区衛生組織活動資金募集（環境・健康募金）事業スタート

健康で暮らしやすいまちづくりのために

環境・健康募金の使われ方

地区衛生組織活動資金募集とは、「私たちの地域は私たちの手で」という思想のもと、地域ぐるみの公衛協活動を行うための原動力として活動資金を集めるものです。昭和35年2月、世界保健デーの4月7日を「健康感謝の日」と定めて以来、毎年実施され、今年で56回目を迎えます。集めた募金は、公衛協の環境保全や保健衛生活動を通じ、地域に還元されます。

募金は、円滑・公正に運営するため、地区衛生組織代表者で組織される募金委員会にいったん集約された後、各市町公衛協・環保協・事務費に配分されます。

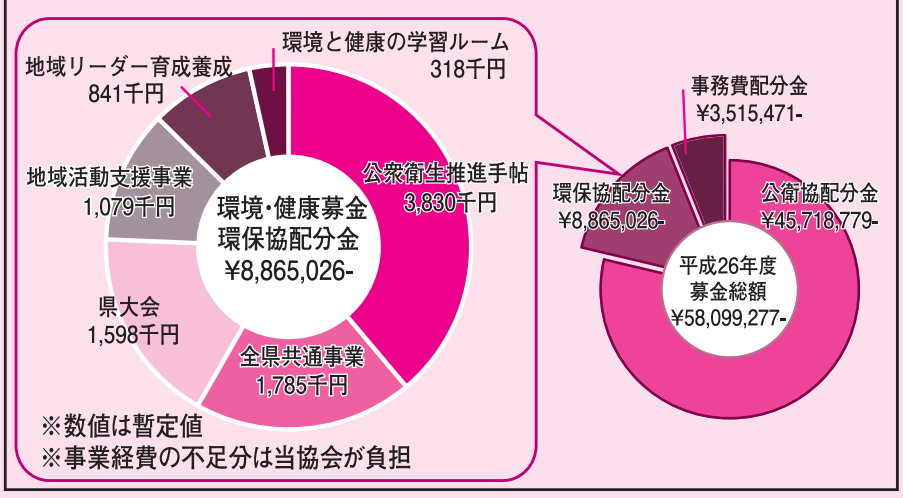
公衛協に配分された募金は、ごみの減量化と分別排出の徹底・リサイクル活動の推進、道路や河川など生活空間の美化活動、脱温暖化普及啓発活動、環境啓発ポスター・標語コンクールなどの環境づくり事業や、生活習慣予防の推進、食育、ウォーキング、献血事業の促進などの健康づくり事業に係る財源などに充てられます。募金の使途は公衛協によって異なりますので、詳しくは各市町の公衛協事務局へお問い合わせください。

環保協配分金は、公衆衛生推進手帖や全県共通事業の「公衛協発・ひろしま美化大作戦」、「一万人のエコチェック事業」「一万人の食チェック事業」「公衛協発ウォーキング事業」の活動支援グッズとして、カードやマニュアル、看板やのぼり旗などの作製、または合同研修など公衆衛生推進委員の養成に係る各種研修、環境と健康の学習ルームの運営費用などに活用されています。

事務費配分金は、募金事業を展開するためのPR用ポスターやチラシ、募金回収袋の作成などに充てられます。

このように、地域のみなさまからお預かりした募金は、地域の公衆衛生活動のために使われ、コミュニティの「環境」と「健康」を守るために役立てられています。募金の趣旨をご理解いただき、引き続きご協力をお願いします。

平成26年度環境・健康募金環保協配分金使途内訳



※数値は暫定値
※事業経費の不足分は当協会が負担